

【資料】

万国津梁会議  
【稼ぐ力】

2020年8月28日

# 万国津梁会議【稼ぐ力】検討委員会

## 目標

沖縄県の稼ぐ力を高め、県民の生活を豊かにすること

# 万国津梁会議【稼ぐ力】検討委員会

議論いただきたいテーマ

沖縄県の「稼ぐ力」とは何か  
どのようにすれば高めることができるのか

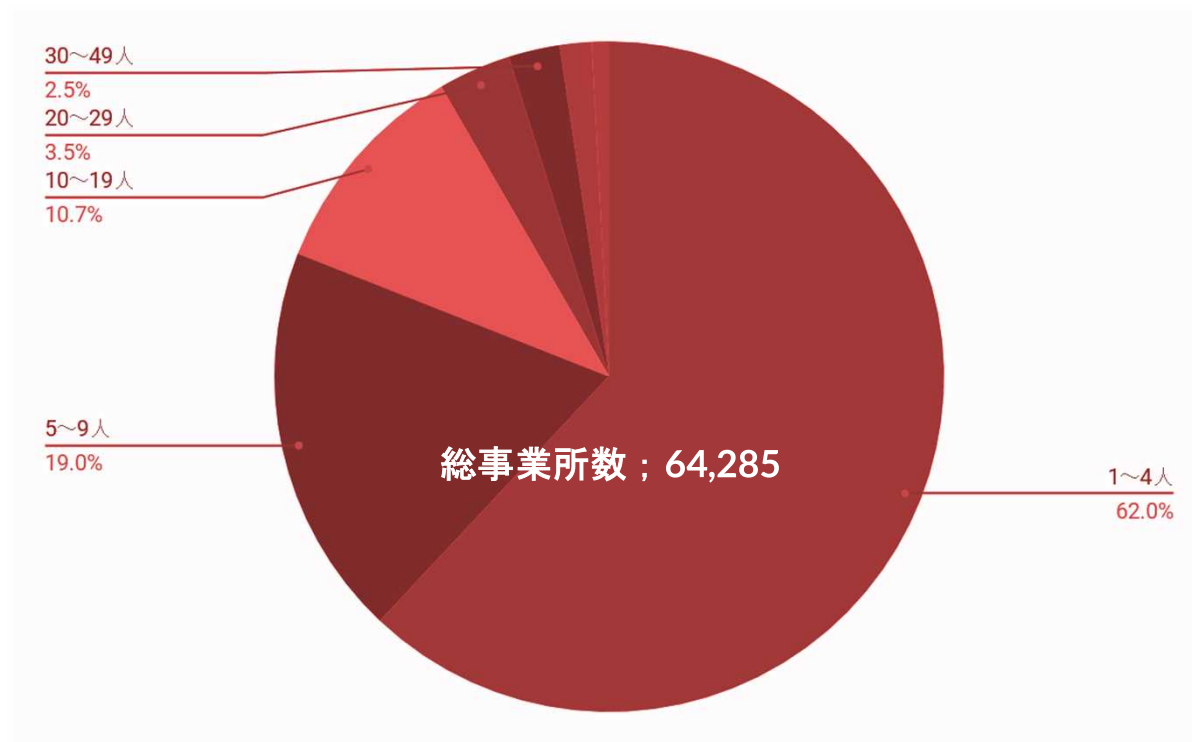
## 事務局の仮説

沖縄経済の構造的な課題は主に

- ① 県内法人の低収益性
- ② 労働生産性の低さ
- ③ 所得水準の低さ

## 規模別事業所比率

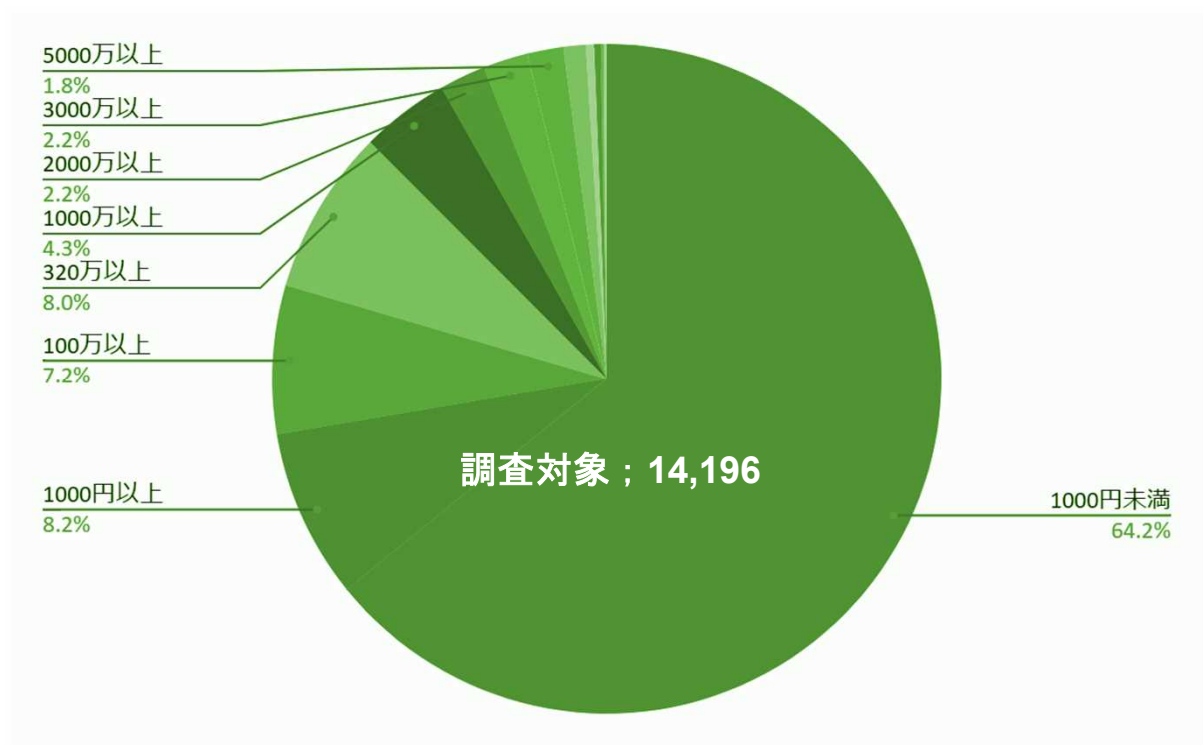
沖縄県内98%の事業所が  
中小企業または個人事業主



平成28年経済センサス活動調査結果【確報】（事業所に関する集計）

## 企業の利益の状況

沖縄県内**60%以上**の法人が  
1,000円未満の利益または  
赤字



2019年民間調査会社データ



# 労働生産性

全国  
848万円

沖縄県  
625万円



出典：平成30年度沖縄における生産性向上に向けた労働生産性分析調査報告書  
2019 内閣府沖縄総合事務局経済産業部



# 労働生産性

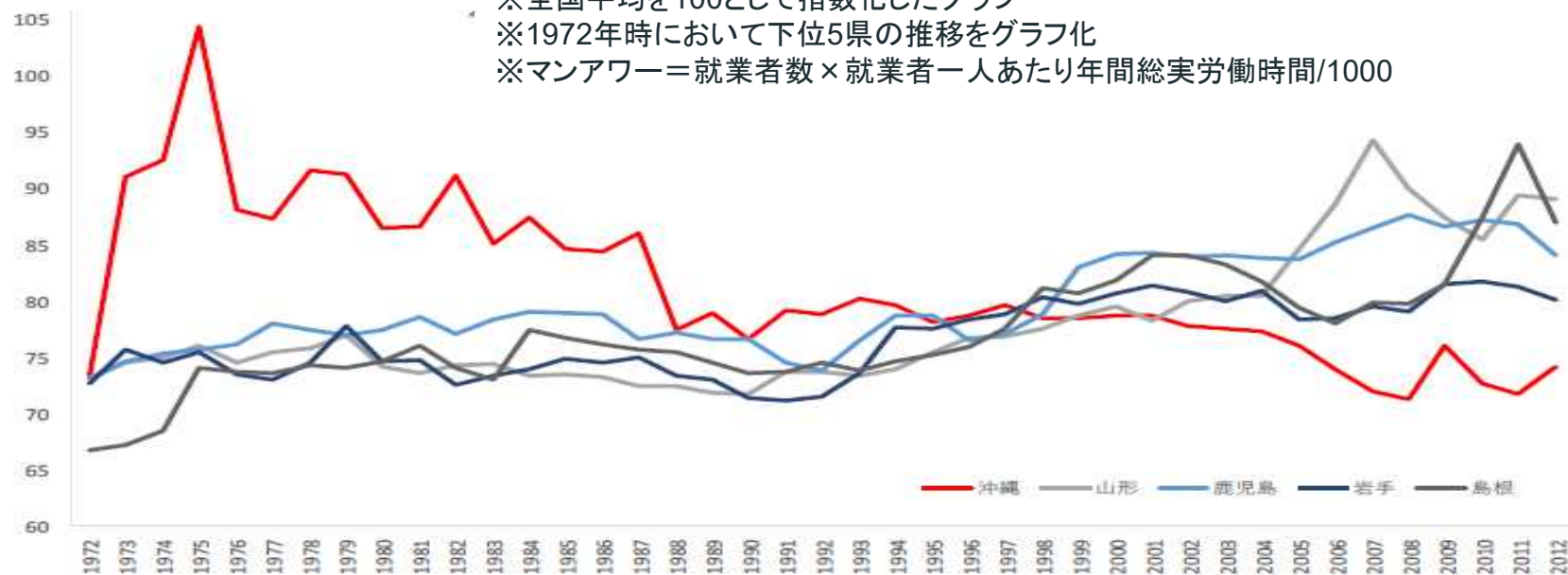
出典：平成30年度沖縄における生産性向上に向けた労働生産性分析調査報告書  
2019 内閣府沖縄総合事務局経済産業部

## 労働生産性(マンアワーあたりの実質県内総生産)の推移

※全国平均を100として指数化したグラフ

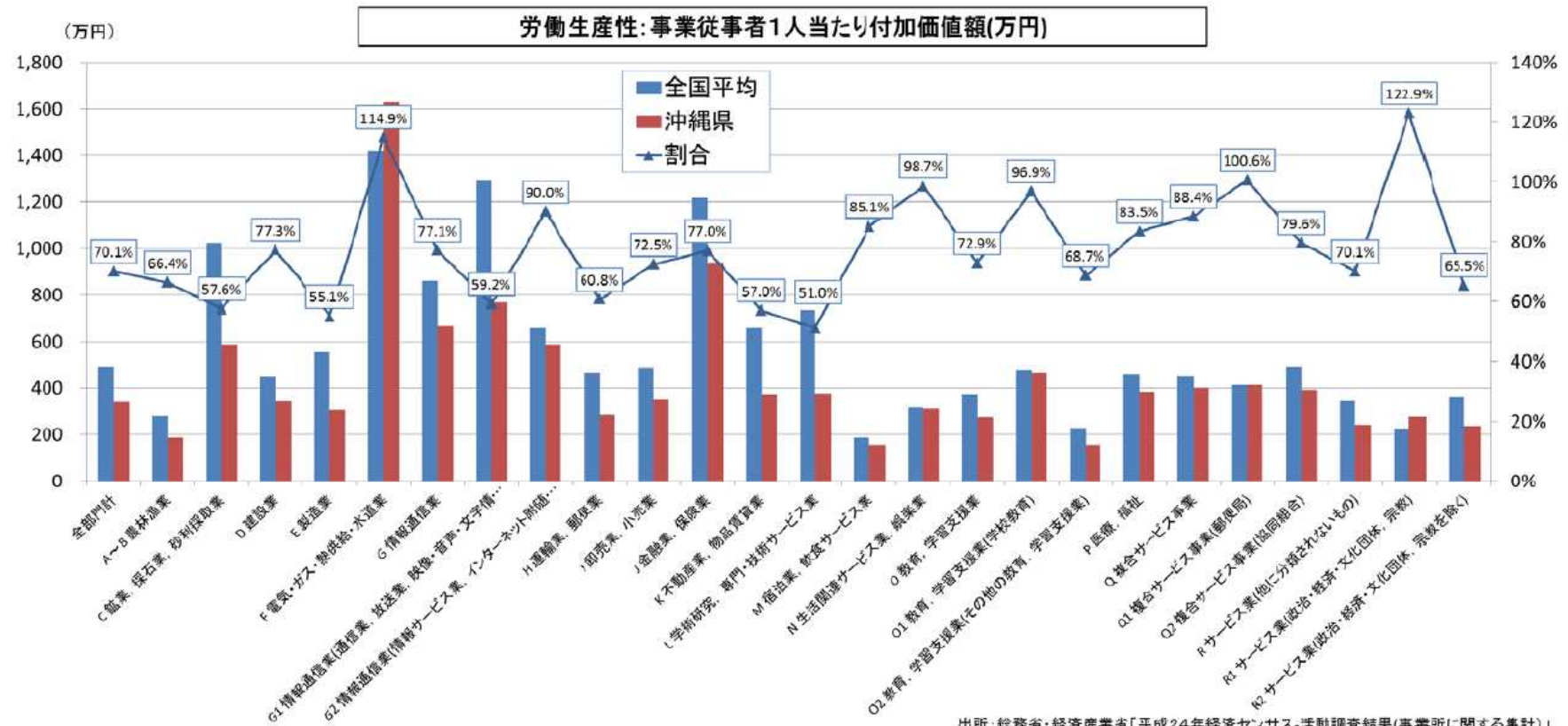
※1972年時において下位5県の推移をグラフ化

※マンアワー＝就業者数×就業者一人あたり年間総実労働時間/1000



# 労働生産性

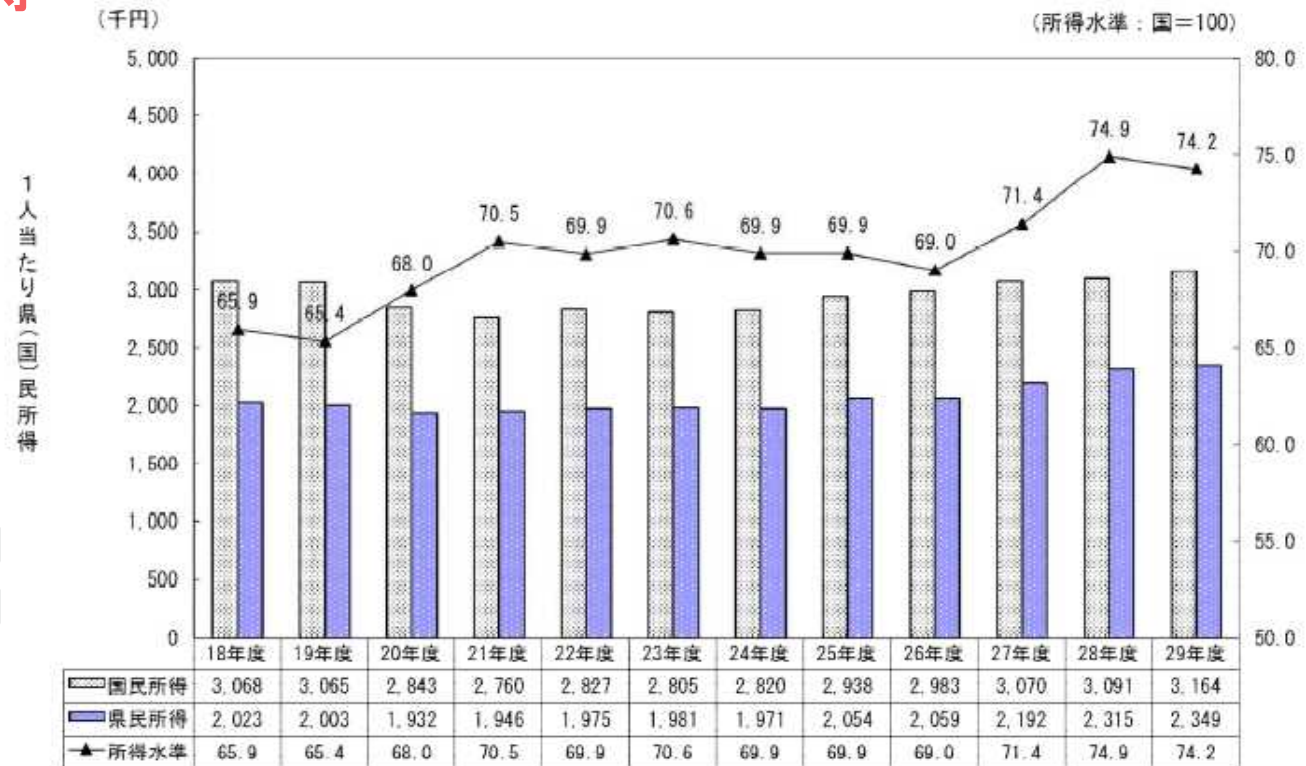
全産業	農林漁業	建設業	製造業	運輸業	卸業・小売業	宿泊業・飲食サービス業	医療・福祉	その他サービス業
46位	43位	37位	47位	47位	36位	46位	41位	43位



# 県民所得

全国 316万円  
 沖縄県 235万円

図表10 1人当たり県(国)民所得と所得水準の推移

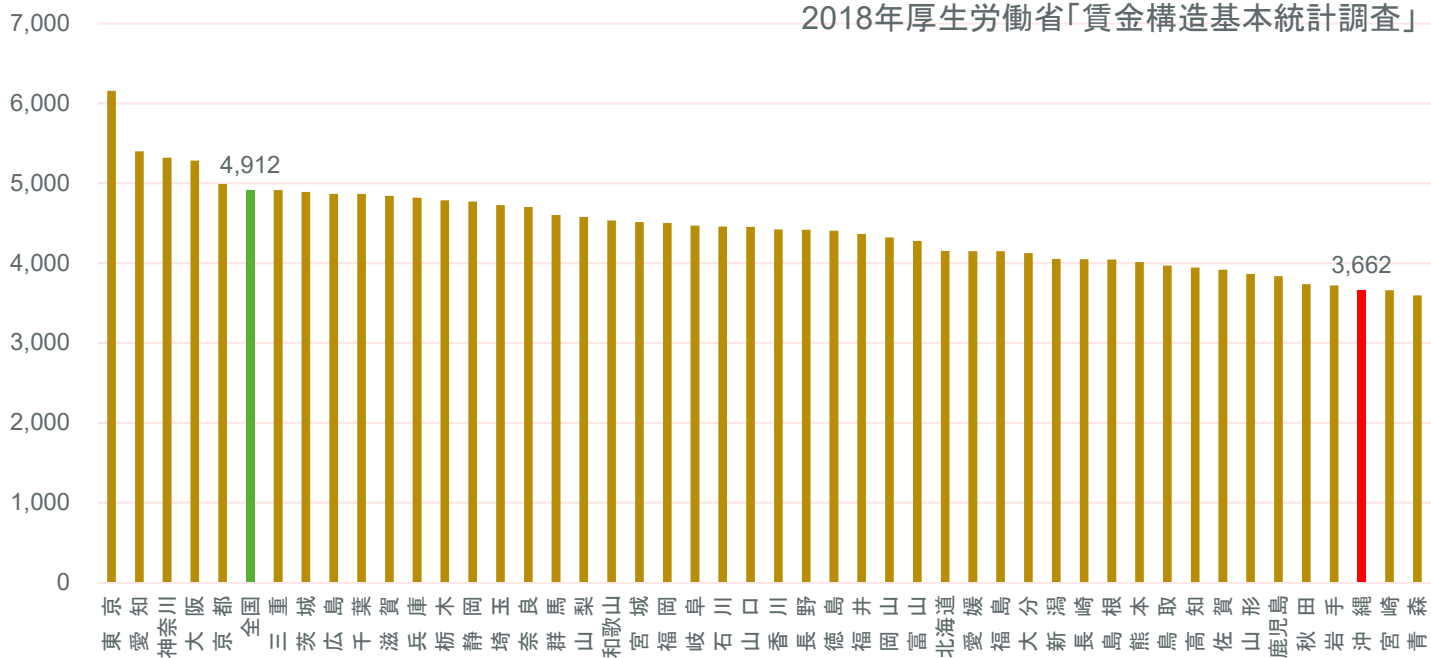


# 平均給与

全国 491万円  
沖縄県 366万円

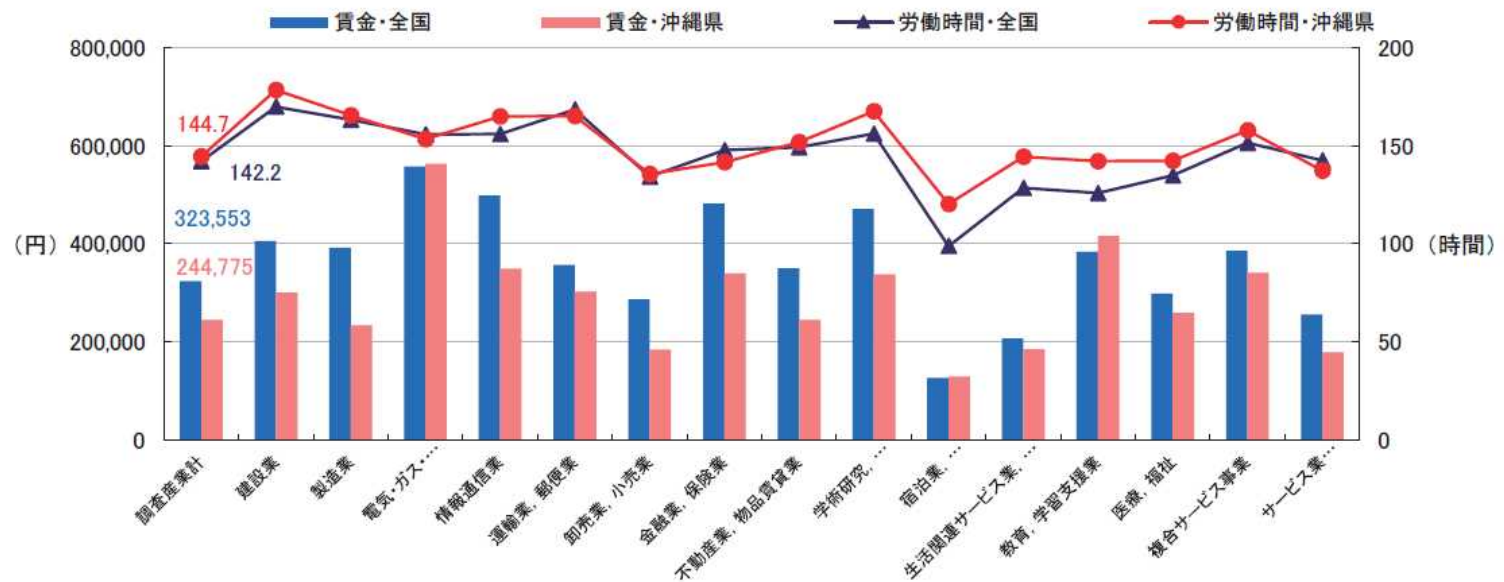
※賞与込

参考資料:都道府県別 平均年収 資料:  
2018年厚生労働省「賃金構造基本統計調査」



# 賃金・労働時間

常用労働者の月間平均賃金・月間平均労働時間の比較（事業所規模5人以上）（平成30年平均）

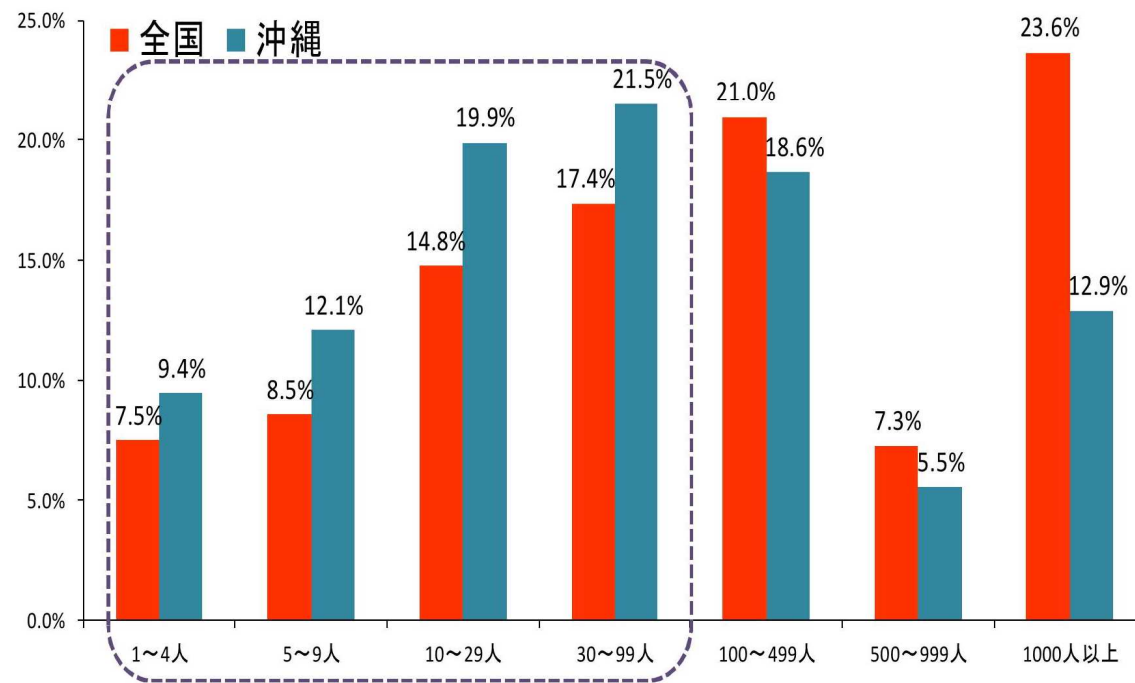


注：沖縄県の「鉱業、採石業、砂利採取業」については、調査対象事業所が少ないため公表されていないが、調査産業計に含まれている。

資料：（全国）厚生労働省「毎月勤労統計調査 全国調査」  
（沖縄県）沖縄県統計課「毎月勤労統計調査 地方調査」

## 就業構造 (企業規模別)

全国に比べ、沖縄は中小企業で働く方が多い



出典：沖縄県の雇用の現状と課題  
沖縄労働局

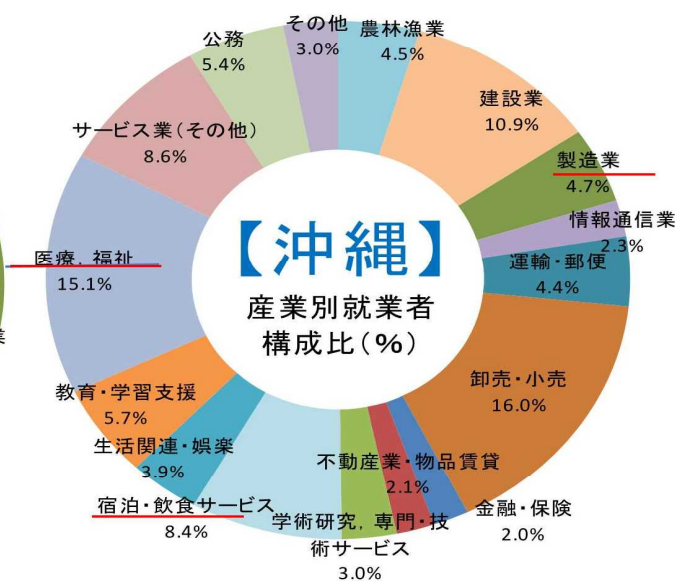
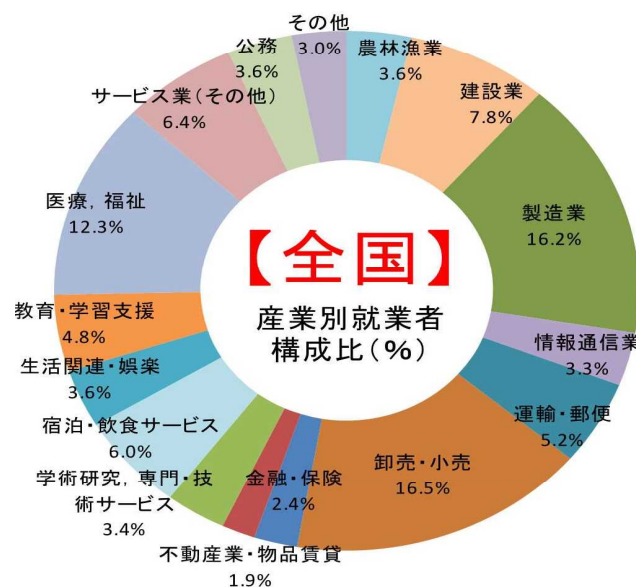
\* 資料：総務省・沖縄県「労働力調査」(H27年)  
※官公庁・不明等を除く雇用者の割合



## 就業構造 (産業別)

卸売、小売業、医療、福祉、建設、サービス業の就業者数が多い

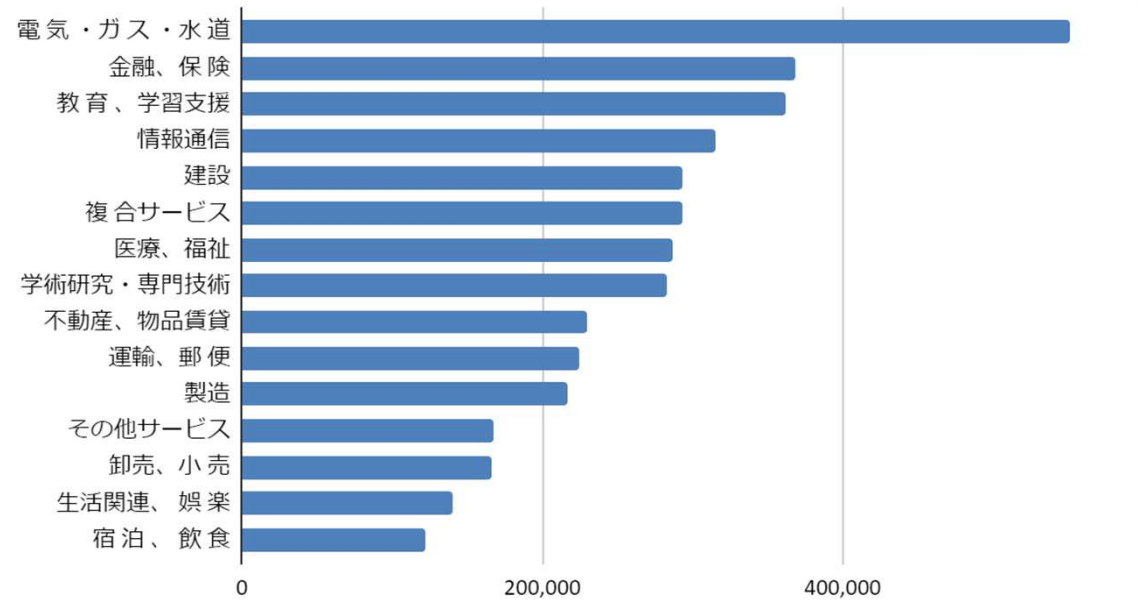
全国に比べ製造業の割合が低く、医療・福祉、宿泊・飲食サービス業などの第3次産業の割合が高い



\* 資料:総務省・沖縄県「労働力調査(H27年)」

## 業種別平均月給

就業者数の多い業種の多くが低い月給にとどまる



平成26年県企画部統計課「毎月勤労統計調査」



# 産業別実質付加価値額

建設業、不動産業、福祉関連、公務員の付加価値額が大きい

